

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策 I-1-4 企業誘致の推進
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂 一弥	電話番号	0852-22-5881
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	企業立地促進資金等融資事務		
目的	(1) 対象	県内に立地を行おうとする企業	
	(2) 意図	立地に必要な長期・低利の良質な資金を調達できる	
事業概要	県内における雇用の増大と企業の育成を図るため、金融機関の協力を得て企業の立地、その他の事業活動に必要な資金を融資する。 ・企業立地促進資金 ・ソフト産業等企業立地促進資金 ・中小企業育成振興資金 ・発電用周辺施設地域企業立地促進資金		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	融資実績	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			6.00	6.00	6.00	
式・定義	融資件数	実績値	8.00	3.00	2.00	1.00		
		達成率		50.00	33.30	16.70		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00	0.00		
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費 (b) (千円)	3,285,041	5,029,214
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・H26年度は、立地関係資金全体で1件229,000千円の融資実績（企業立地促進資金）となった。  
 ・県内への立地企業については、ソフト産業を中心に増加しているものの、市中金融機関の金利の低下等の理由により、立地関係資金の需要は低迷（企業立地助成金 H26年度実績 新規13件）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・資金の利用促進のために金利を0.1%下げた。  
 ・H26年度に幅広く情報提供及び収集を行ったこともあり、H27年度に向けての相談が1件あった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」  
 ・県内への立地企業は増えているものの、立地関係資金を活用する企業が少ない。

②困っている状況が発生している「原因」  
 ・市中金融機関のプロパー資金の金利が低下しており、立地を行うような優良企業においては、現行の利率ではメリットがない  
 ・民間金融機関、政府系金融機関による低利な融資制度の提供（立地認定企業の利用割合が低い。）

③原因を解消するための「課題」  
 ・民間金融機関の金利水準を踏まえ、適宜、融資利率水準の見直しを実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・商工団体及び金融機関と連携し、県内企業の資金ニーズを把握しながら、引き続き、必要に応じて、制度（金利水準含む）の改正も含めた検討を行う。  
 ・制度の活用を促進するために、制度のPRに努める。（ホームページ、パンフレットの掲載、説明会の開催など）

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）